

のり養殖通報第8報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議 平成31年1月15日発行

[気象・海況] 栄養塩は湾奥部でやや減少、富津岬南部には沖合水波及

- 12月末は冬型が強まり平年を下回る気温が続いた。1月以降も冬型の気圧配置の日が多く気温はほぼ平年並みで推移している。気象予報では今後も周期的に冬型の気圧配置が強まり気温はほぼ平年並みの日が多いと予想されている。
- 1月10、11日の観測では、表層水温は内湾が8~10℃台で前年同時期とほぼ同じ値。内房には沖合水が断続的に波及し、大貫沖では前年同期より3℃程度高い15℃台の水塊が観測された。湾奥部では植物プランクトンがやや増加し（優占種はスケルトネマなどの小型の珪藻）、その影響で船橋ではリンの値が減少したが、その他の調査点では栄養塩は概ね十分な量が含まれている（表1）。
- 新富津漁協自動観測ブイによる観測値では、水温は12月中旬までは15℃前後で昨年と同水準で推移していたが、下旬以降は沖合水の波及が強まり、水温の急上昇が断続的に続いている。

[今後の留意点] 植物プランクトン増加に注意

- 栄養塩はほぼ十分な量が含まれ、県全体で色調良好な乾ノリの生産が続いていますが、植物プランクトンの増加によりやや栄養塩が減少した調査点があります。今後、降雨が少なく晴天が継続した場合、さらなる減少が心配されます。植物プランクトンの動向に注意して下さい。
- 水温が低下し内湾では魚類による食害は弱まってきましたが、富津岬以南では水温の高い沖の漁場で、依然食害対策が必要となっています。岸よりの水温の低い場所など比較的良い場所を有効に活用し、対策を施しながら状況好転を待ってください。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。
 次回は1月23日頃発行します。

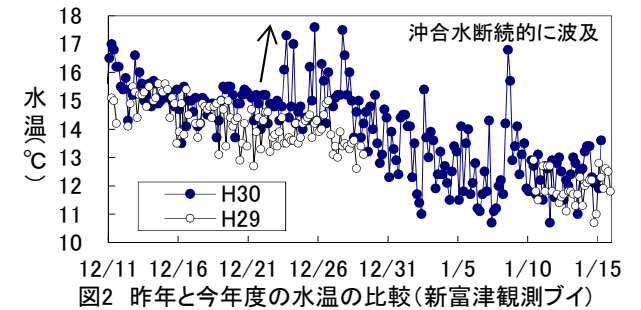
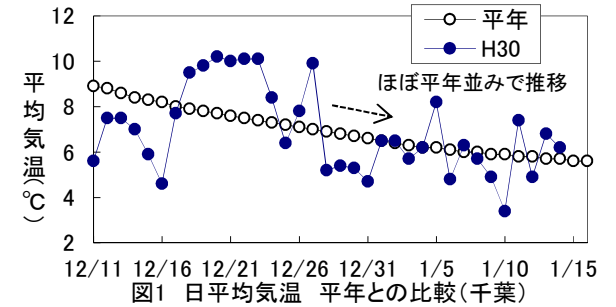


表1 水質観測結果(内湾 1/11, 内房 1/10)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	8.7	31.5	8.4	2.3	357	4
盤洲Cブイ	10.8	32.1	8.4	3.5	439	21
盤洲Bブイ	10.5	32.3	8.5	4.0	445	25
盤洲Aブイ	10.9	32.5	8.4	3.8	421	26
富津ベタ	10.9	32.4	8.5	5.8	428	28
2海ほ下	11.3	33.0		4.0	340	24
大貫沖	15.1	34.2		9.0	131	12

*溶存無機態窒素 (μg/l)、**リン酸態リン (μg/l)

※高色調のノリの生産に必要なレベル 窒素 110 リン 8

ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル 窒素 90 リン 5